

令和6年度第2回山口県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会  
開催概要

1 開催日時 令和7年2月19日（水）10時30～12時00分

2 開催場所 山口職業能力開発促進センター A棟2階多目的教室

3 主な議題

- (1) 令和6年度職業能力開発業務実施状況について
- (2) 令和7年度職業能力開発業務実施計画について
- (3) その他

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は以下のとおり。

(広報について)

- ・「ポリテクセンター」の名称を子供たちやより多くの方々に知ってもらうための努力をされているが、地方施設ごとの取組では成果が十分に得られないので、機構本部において、「ポリテクセンター」や「ハロートレーニング」の認知度向上のため、費用を投じてPRすることも有効と考えられるので、そうした取組が進むよう、機構山口支部から機構本部に提案していただきたい。
- ・職業訓練を受講するかどうかが悩んでいる方に対して、職業訓練のアプローチをする際にミスマッチが生じないようにすることが肝要である。職業訓練を知っていただくために、動画を活用してきめ細かく相談対応を行っていただきたい。
- ・ものづくり体験教室は、子供や保護者にポリテクセンターを知ってもらう良いきっかけとなり、非常に重要なPR材料である。ものづくり体験教室の評判が良ければ、年3回くらい開催してはどうか。また、ものづくり体験教室を動画配信サイトに掲載したら、参加者だけでなく参加できなかった保護者や子供も視聴できるので、広報戦略として検討いただきたい。

(正社員就職率について)

- ・正社員就職率については、正社員を希望しない者も一定数あり、それを分母に含めると就職率が低く表れる。正社員就職への支援に取り組んだ努力の成果を示すため、「正社員就職の希望者数のうちの正社員就職者数の割合」と表記することを検討いただきたい。

(アビリンピックについて)

- ・アビリンピック（やまぐち地方大会を含む）に出場して入賞した方が関連職種に就職した事例があるとのことなので、そういった点もアピールし、出場者の確保につなげていただきたい。

令和6年度第2回山口県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (2名)	松岡 光信 (会長)	山口県職業能力開発協会 専務理事
	田熊 直樹	公立大学法人山口県立大学 就職支援部門長
労働者代表 (2名)	岡崎 博幸	日本労働組合総連合会山口県連合会 副事務局長
	豊村 雄二	日本労働組合総連合会山口県連合会 副事務局長
中小企業等代表 (4名)	坂本 竜生	山口県中小企業団体中央会 専務理事
	荒瀬 慎太郎	山口県経営者協会 理事 事務局長
	重村 奈津枝	山口商工会議所 事務局長
	渡邊 元司	山口県商工会連合会 事務局長
行政機関 (2名)	鈴木 卓	山口労働局 職業安定部長
	松田 恭明	山口県 産業労働部産業人材課長

(順不同)